

岐阜県植物誌

Flora of Gifu, Japan

岐阜県植物誌調査会

- ★岐阜県に自生する維管束植物のほぼすべて 2,359 種を網羅
- ★自生植物と帰化植物を標本に基づき 16 年かけて調査
- ★最新の研究成果に基づいた分類 (APG) に準拠
- ★各種に和名、学名、解説、分布、県内分布図
- ★科と属の検索表と多数の精細な植物画を掲載
- ★植物研究や環境調査の基礎となる最新データベース



Cirsium hidaense Kitam.
下呂市 2012/10/9 Th
ヒダアザミ



Dryopteris kinkiensis Koidz. ex Tagawa
ギフベニシダ 可児市 2004/7/11 村瀬正成 (Mm) 撮影

岐阜県に 因む植物

岐阜は、飛騨と美濃の国からなり、西濃、中濃、東濃、奥美濃と呼ばれる地域がある。また、伊吹山、白山、御嶽山、乗鞍岳などの名峰が多い。これらの名に因んだ植物が多くある。



Chrysosplenium pseudopilosum Wakab. et Hir. Takah. var. *pseudopilosum*
トウノウネコノメ 土岐市 2018/3/29 Th



Chrysosplenium nagasei Wakab. et H. Ohba var. *nagasei*
ヒダボタン 高山市 2012/5/8 Th



Chrysosplenium nagasei Wakab. et H. Ohba var. *luteoflorum* Wakab. et H. Ohba
ヒメヒダボタン 根栗町 2017/4/30 Th



Chrysosplenium nagasei Wakab. et H. Ohba var. *porphyranthes* Wakab. et H. Ohba
アカヒダボタン 根栗町 2017/5/11 Th

ヒカゲノカズラ科

シダ植物

ヒカゲノカズラ科 Lycopodiaceae (狭山恒弘)

従来ヒカゲノカズラ属 1 属にまとめる扱いが広くなってきたが、最近の研究を基に、複数の属に分割する説が主流になった。新しい分類体系によると世界に 5 属約 400 種が知られ、日本に 4 属 22 種、岐阜県に 4 属 11 種がある。なお千葉県立中央博物館にはヒメソウの標本が収蔵されているが、産地が誤記の可能性もあるので、ここでは除外した。

属の検索表

- A. 茎には匍匐茎（主軸）と直立茎（側枝）がある
 - B. 湿地生 …………… 2. ヤチスギラン属
 - B. 湿地生ではない
 - C. 胞子嚢穂は下垂してつく …………… 2. ヤチスギラン属
 - C. 胞子嚢穂は上向きにつく …………… 2. ヤチスギラン属 (ミズギ)
 - A. 茎は直立茎のみで匍匐茎はない
 - B. 地上生または岩上生。無性芽をつける …………… 1. コスギラン属
 - B. 着生または岩上生。無性芽をつけない …………… 4. ヨウラクヒバ属
1. コスギラン属 *Huperzia* Bernh.
茎は直立茎のみで匍匐茎はない。胞子嚢をつける茎に無性芽をつける。温帯を中心に世界に約 50 種以上知られ、日本に 4 種、岐阜県に 3 種自生している。

検索表

- A. 葉には不規則な鋸歯がある …………… (3) トウゲシバ
- A. 葉は全縁 …………… (1) ヒメスギラン
- B. 葉は基部からしだいに細くなる …………… (1) ヒメスギラン
- B. 葉はほぼ中央まで両側が平行し、それからしだいに細くなる …………… (2) コスギラン

(1) ヒメスギラン *Huperzia miyoshiana* (Makino) Ching
標高の高い山地の岩上等に生える常緑性の小葉類。茎は高さ 5-15cm くらいで基部は斜上し、その近くでまばらに 2 叉分岐し直立する。茎に対して下部の葉は開出する。上部の葉腋に胞子嚢をつけるが、胞子嚢穂は作らない。茎の先端に無性芽を久島(北)にある。岐阜県では県北東部、県南の東部、西部の県境付近などに、標高 1,100-1,400m の地域でやまれに見られる。



(2) コスギラン *Huperzia selago* (L.) Bernh. ex Schrank et C. F. P. Mart.
標高の高い山地から高山帯の地上や岩上に生える常緑性の小葉類。形態はヒメスギランによく似ていて茎は高さ 2.5-10cm で主に葉の形で区別するが、変異もあって微妙なものもある。葉質はやや硬くてヒメスギランのほうが薄くて軟らかい傾向がある。茎に対して下部の葉はやや斜上する。北半球の温帯に広く分布し、日本では北海道、本州（石川県以東）、屋久島にある。岐阜県では県北東部の標高 2,000m 以上の地域でまれに見られる。



編著 / 岐阜県植物誌調査会 岐阜県植物研究会の有志により、植物誌作成などを目標に2002年に設立。岐阜大学名誉教授 高橋 弘会長のもと、精力的に岐阜県の植物相の調査を行っている。

定価 / 本体12,000円+税 A4判・上製・口絵32頁+936頁 ISBN978-4-8299-8806-0

岐阜県植物誌 〈目次〉

口絵
はじめに
目次
岐阜県の森林植生
岐阜県の植物相
凡例
シダ植物
裸子植物
被子植物

引用文献
岐阜県を特徴づける植物分布
謝辞
岐阜県植物誌調査会
会員と執筆者一覧
INDEX
和名索引

モチノキ科



ミヤマウメドモドキ *Myrica asplenifolia*

749

モクレン科

モクレン科 Magnoliaceae

(野村勝重)

低木あるいは高木、葉は互生する。世界には2属294種あり、国内には2属7種の記載があるが、岐阜県内にはモクレン属5種が自生する。

1. モクレン属 *Magnolia* L.

花は両性。花被片は離生し、雄蕊、雌蕊ともらせん状に多数つく。日本に自生する種は花被片が萼片と花弁の区別ができ、萼片は3枚、花弁は40枚に至ることもある。世界では90種ほど、国内では6種自生が記載されているが、岐阜県内には5種の自生がある。

検索表

- A. 葉の展開前に開花
 - B. 湿潤な所を好む。花の下に小型の葉がある
 - C. 花弁は6-40枚あり、白色から濃紅色を帯びるものまである。葉は開披針形から長楕円形 (5) シデコブシ
 - C. 花弁はふつう6枚、白色だがその基部は紅色を帯びる。葉は倒卵形から倒卵状長楕円形 (1) コブシ
 - B. 湿潤な所を好まない。花の下に葉はない (3) タムシバ
- A. 葉の展開後に開花
 - B. 花は直径15cm以上。花糸は赤色。葉は長さ20-40cm (2) ホオノキ
 - B. 花は直径5-10cm。花糸は淡赤色。葉は長さ6-18cm (4) オオヤマレンゲ



岐阜県を特徴づける植物分布

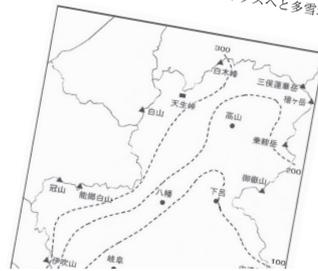
岐阜県を特徴づける植物分布

(高橋弘)

本州のほぼ中央に位置する岐阜県は、海に面した部分がない内陸県であるものの、海拔がほぼ0mから3,000mまでの標高差があり、太平洋側気候と日本海側気候の両方の気候区分に入るなど、多様な環境を抱えている。この植物誌に掲載されている固有の維管束植物は2,395種ある(種内分類群を除く)。これは植物の多様なことで知られている隣の長野県の2,506種(清水1997)に及ばないものの、長野県の面積が約13,560km²であるのに対して、岐阜県は約10,620km²であることを考慮すると、岐阜県の植物を分布地理の上から見ると、興味深いことが分かる。Hara and Kanai (1959)が示した、北海道から九州まで見られる被子植物の分布の10タイプのうち9タイプに岐阜県が含まれ、岐阜県が外れるのは富士山周辺に限られるもののみである。このことが岐阜県の豊富な植物相と関係していることは間違いない。以下に岐阜県の植物分布における特徴の概略を示す。なお、岐阜県では昔の飛騨国を中心とした地域を飛騨地方、美濃国を中心とした地域を美濃地方と表現されるが、凡例に示したように、ここでは中央付近でくびれているところから北を県北、南を県南と表すことにする。

1. 日本海側を中心に分布する植物

岐阜県は日本海側に片寄って分布する日本海要素とされる植物がかなりある(表1)。これらは積雪量に対応した分布を示すことが多い。岐阜県では県南の西部から県北の西部へと帯状に北上して、更に東へ延びて北アルプスへと多雪地域が広がる(青木ほか1981; 図1)。



下の欄にご記入の上、お近くの書店にご注文ください

注文書

取扱い店

岐阜県植物誌

岐阜県植物誌調査会 / 編著

注文 部

定価 / 本体12,000円+税

年 月 日

客注

お名前

電話

ご住所 〒

※小社に直接お申し込み(郵送・FAX)もいただけます。その場合は代引での発送となり、手数料(432円~648円 ※2019年8月現在)はおお客様の負担となります。ご記入された個人情報情報は、ご注文いただいた商品の発送・確認等のために利用し、それ以外での利用はいたしません。

文一総合出版

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町2-5 川上ビル 営業部: Tel: 03-3235-7341 編集部: Tel: 03-3235-7342
Fax: 03-3269-1402 (共通) ホームページ: <https://www.bun-ichi.co.jp/>